

現代日本論基礎講読「研究法入門」

第7講 論文をさがす

田中重人 (東北大学文学部准教授)

1 とりあえず実習

国立情報学研究所「論文情報ナビゲータ」(CiNii: <http://ci.nii.ac.jp>) のサイトで、つぎの論文を同定する。

野江啓一「理性の外部としての異界」

この論文を掲載している雑誌 (の当該の号) がどこにあるかを東北大学附属図書館サイトで検索する (<http://www.library.tohoku.ac.jp>)。

2 CiNii の使いかた

2.1 CiNii とは

NII 論文情報ナビゲータ (Citation Information by National Institute for Informatics) <http://ci.nii.ac.jp>

国立情報学研究所 (NII) による論文検索用統合サービス。種々のデータベースの複合体である (http://ci.nii.ac.jp/info/ja/cinii_db.html)。『情報探索の基礎知識』(人文社会科学編 p. 32)

検索は無料で、だれでも利用できる。抄録や本文などにアクセスできる論文もある (抄録・本文の閲覧は有料の場合と無料の場合がある)。

「ヘルプ」から、以下のことを調べてみよう：

- CiNii の成り立ちとデータの集めかた
- 「フリーワード」と「詳細検索」のちがい
- AND/OR 検索の方法
- 空白を含む文字列を指定する方法
- 長音符 (ー) のあつかい

検索結果は、通常は

- 論文名
- 著者名
- 雑誌名 巻号, ページ, 出版年

の順に表示される。情報が欠けている場合もある。抄録などが表示される場合もある

論文名のところはリンク情報になっており、クリックすると詳細が表示される。

全文ファイルがある場合は、全文ファイル (PDF など) へのリンクが表示される。有料の場合、支払手続きが必要である (クレジットカードも利用できる)。

他のデータベースの情報へのリンクがある場合もある。

そのほか、つぎのようなアイコンから各種のデータベースでその論文 / 雑誌の情報を探せる：

- OPAC: 東北大学図書館の所蔵情報
- NDL-OPAC: 国立国会図書館の雑誌記事情報
- CiNii PDF: 国立情報学研究所で提供している全文情報
- 機関リポジトリ: 各大学等のリポジトリの全文情報
- J-STAGE: 科学技術振興機構が発行している電子ジャーナルへのリンク
- CrossRef / DOI: 様々な出版社が発行している電子ジャーナルへのリンク

左端の にチェックを入れた論文の情報をダウンロードすることができる。右欄の「書き出し」から「TSV形式」の情報を保存して、表計算ソフトに取り込むのがいちばん簡便。「Refer/BibIX形式」などの情報は文献管理専用ソフト用。

2.2 CiNii のデータ源

国立国会図書館「雑誌記事索引」(NDL)

日本国内で出版された出版物は、国立国会図書館におさめなければならないことになっている。この制度にしたがって納本された雑誌の論文・記事について、著者名・論文名・キーワード・年次などから検索できる。くわしくは http://www.ndl.go.jp/jp/data/sakuin/sakuin_select.html 参照。 <http://opac.ndl.go.jp> から「雑誌記事索引の検索/申込み」をたどると、単独で利用できる。

- 1万近い雑誌から記事を採録
- 出版からだいたい2月以内で収録される
- 時々収録されていない論文がある(例:『日本語学』の1995年以前)
- 一般の雑誌を多数収録しているので、非学術的な内容の記事が引がかかることが多い
- 入力の精度はきわめて高い

研究紀要目次速報データベース/電子図書館サービス(NII-ELS)

学会や大学・研究機関が出版する学術雑誌について、各機関で入力したデータベース。最低限の書誌データしか入っていないものから、全文のPDFファイルが読めるものまである。英語の情報ももっていることが多い。各学会等で入力しているので、品質のばらつきが大きい(入力ミスが多いものもある)。2016年度末で事業が終了したので、今後データが増えることはないはず。

引用文献索引データベース(CJP)

自然科学分野の学術論文について、文献表に記載されたデータを入力したデータベース。入力の精度はきわめて低い。

その他

文献情報を公開している各種データベースから情報を取得している。ほかのデータベースと重複していることが多い。全文PDFなどが読めることも多い。

3 雑誌所在をさがす

3.1 冊子体の所在

CiNiiの検索結果に「OPAC」というアイコンが付いている場合、それをクリックすると東北大学附属図書館の所蔵検索ができる(東北大学内からのアクセスの場合のみ)。

東北大学附属図書館のサイト (<http://www.library.tohoku.ac.jp>) で直接検索することもできる。ISSNなどをひかえておいて、それでひくとよい。雑誌名で検索するときは、詳細検索で検索対象を「雑誌」に限定したり、フィールドを「書名(完全形)」に限定したりすると、ヒット数を減らせる。

「学外」にチェックを入れておくと、東北大学図書館内にはない場合には、学外まで所蔵を検索してくれる(CiNii Booksによる)。くわしくは、『情報探索の基礎知識』(基本編3章)を参照。

3.2 電子ジャーナルの利用

電子ジャーナルとは

「冊子体の内容と同じ本文を、ウェブで利用できるようにしたもの」(基本編 p. 108)。通常、各論文がひとつのファイルになっている。近年ではPDF (Portable Document Format) 形式で提供されることが多い。印刷された冊子体の論文と同一のものとみなしていいことになっている。

印刷用のコンピュータ・ファイルを流用したもの

- ファイル・サイズが小さく、精度が高い。
- テキスト情報がふくまれるので、文字列検索ができる。

印刷物からスキャンしたもの

- ファイル・サイズは精度に比例する。こまかい文字の判別ができなかったり、汚れが写っていたりすることがある。
- 何種類かのファイル・サイズを選べることがある。
- OCR (光学的文字認識) で取得したテキスト情報をつけていることが多いが、一般に精度が低い。

電子ジャーナルの購読「契約」とは.....東北大学内のコンピュータからファイルにアクセスできる (IPアドレスで識別される)。

契約していない場合でも、無料で提供されているものや、クレジットカード決済で購入できるものがある。

図書館で冊子体を購入していない雑誌であっても、電子ジャーナルの購読は契約していることがある。<http://www.library.tohoku.ac.jp/search/ejournal/> から探してみるとよい(学内限定)。

電子ジャーナルの探しかた

- 図書館 WWW サイトの「電子ジャーナル」リストから (基本編 pp. 109-111)
- 図書館目録 (Online Catalog) 検索結果から (基本編 p. 112)
- 検索エンジン Google や Google Scholar <<http://scholar.google.com>> など

各種文献データベースの検索結果からジャンプできることがある

課題: 教科書基本編 p. 109-111 にしたがって *Clinical Neurophysiology*, 117(3), pp. 668-680 の電子ジャーナル版論文を探してみる。

注意事項

電子ジャーナルはふつうの冊子体とは利用マナーが違うので、注意事項をよく読んでから使うこと。特に、雑誌全体をブラウズすることは認められていないので、注意。

3.3 その他の電子論文

オンライン雑誌（冊子体が発行されないもの）は通常「電子ジャーナル」とは呼ばれない。

著者やその所属機関が雑誌投稿前の原稿（preprint）や掲載決定後の原稿（postprint）を公開している場合がある。Working paper, Self-archiving, E-print などと呼ばれる。これらについては、雑誌に掲載された論文との同一性の保証がないことに注意。内容についての参考にはなるが、引用するには正式の版（雑誌の冊子体または電子ジャーナル）を利用すること。

例：東北大学機関レポジトリ TOUR <<https://tohoku.repo.nii.ac.jp>>

これらのファイルをさがすには、現在のところ、Google Scholar <<http://scholar.google.com>> がいちばん便利である。

3.4 学外の所在をさがす

附属図書館 OPAC で検索するときに「学外」にチェックしておく。または、CiNii Books 検索：<http://ci.nii.ac.jp/books> (by 国立情報学研究所)。いずれの場合も、NACSIS ID を控えておく (AN10091189 のようなやつ)

4 論文の入手

- 電子化バージョンにアクセスできる そのまま download あるいは印刷
- 東北大学図書館本館にある 借り出し (たいてい2号館にある)
- 東北大学内の研究室など きいてみる (貸してもらえないこともある)
- 他の大学図書館など 複写または貸借 (レファレンス・デスクで申し込む：有料)。

東北大学図書館では オンラインでの複写・貸借申し込みサービス も行っているの、それを利用してよい。『情報探索の基礎知識』付録7「相互利用サービス」および基本編 pp. 11-12 の MyLibrary の説明を参照。

5 論文種別の確認

- Peer Review 制の雑誌か その雑誌の投稿規程などを見る
- 研究ノート、調査報告など 通常、論文タイトルのところに併記されている
- 投稿論文 / 依頼論文 「特集」の論文は、通常は依頼論文。論文タイトルのところに「投稿論文」と書いてあったり、編集後記などに言及があったりする。雑誌によってはほとんどが依頼論文という編集方針のものもあるので、投稿規程があるかどうかを確認する。

6 参考 URL

日本語教育学研究室「学生のための研究の手引き」<<http://www2.sal.tohoku.ac.jp/nik/student/>> (ふるい情報も含んでいるので注意)